研究紀要「第５５集」の発刊にあたって

田川郡教育研究所では、研究主題を「学習指導と評価に関する研究　～言語活動の充実を図った学習指導と新しい評価の実践事例の収集を通して～」と定め、５年次を迎えました。本年度も各教科等部会より貴重な実践事例をご提出いただき、研究紀要「第５５集」を発刊する運びとなりました。今後の教育活動に活用していただければ幸いです。ご執筆いただいた研究員並びに実践に取り組まれた先生方、そして、ご指導いただきました各部担当の校長先生、教頭先生方にお礼を申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を祈念いたします。

田川郡内の各小・中学校では、これまで取り組んできた確かな学力の定着と向上を図ることに加え、子供たちにとって今後重要と考えられる、何事にも主体的に取り組もうとする意欲や、多様性を尊重する態度、他者と協働するための能力、豊かな感性や優しさ、思いやり等を育成しなければなりません。従来のような受け身型の授業から、子供たちが主体的・協働的に学ぶ授業づくりに真摯に取り組まれることを期待しています。

田川郡教育研究所におきましても、先生方の参考になる実践事例の紹介や資料等の収集に努めます。また、教職員の世代交代に伴い、各教育関係機関や学校がこれまで以上に教職員の人材育成に取り組む必要があることから、今後も各事業内容の充実に努めるとともに、田川郡地教委連絡協議会、田川郡小・中学校校長会及び教頭会と連携を図りながら組織的・計画的に、効果的でより実践的な研修の実施にも取り組んで参ります。

最後になりましたが、当教育研究所の事業の推進に対しまして、日頃よりご支援とご協力を賜りました田川郡町村会並びに田川郡地教委連絡協議会、福岡県教育庁筑豊教育事務所、田川郡小・中学校校長会並びに教頭会の皆様に衷心より感謝申し上げます。

平成２８年３月

田川郡教育研究所　所長　平野　志津夫